国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

独立行政法人
水資源機構

令 和 ７ 年 ６ 月 １ ８ 日
独立行政法人水資源機構中部支社
国 土 交 通 省 中 部 地 方 整 備 局

「第９回 長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会」を開催します。

長良川の水質保全のために、一時的に長良川河口堰からの流下量を増大させる長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関する操作（フラッシュ操作）について、令和６年度に実施したフラッシュ操作に関するモニタリング結果を報告し、令和７年度の更なる弾力的な運用に関し、意見を伺う「第９回　長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会」を開催します。

本部会の日時及び会場等については以下のとおりです。

１．開催日時及び場所
- 日時　令和７年６月２４日（火）
  １０：００～１２：００（終了予定）
- 場所　ＡＰ名古屋　会議室Ｂ＋Ｃ＋Ｄ
  名古屋市中村区名駅 4-10-25 名駅 IMAI ビル８階　※別紙１参照

２．添付資料　　別紙２
「長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会について」

３．そ の 他　　本検討会は公開で行います。
- 取材の受付は９：３０から開始します。取材を希望される方は、事前に別添の申込書を６月２０日（金）１７時までに電子メールにてお申込みください。
- ビデオ・カメラ等の撮影は冒頭の挨拶までとさせていただきます。
- 検討会は議事の進行状況により終了時刻は変わることがあります。予めご了承ください。
- 会議内容は、別紙２を参照ください。

４．配 布 先　　中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ（三重県）、桑名記者クラブ

５．問合せ先　　独立行政法人水資源機構　中部支社　企画調整課長
塚本（つかもと）　守（まもる）　TEL(052)231-7541

揖斐川・長良川総合管理所　事業調整役
冨田（とみた）　尚樹（なおき）　TEL(0585)22-6711

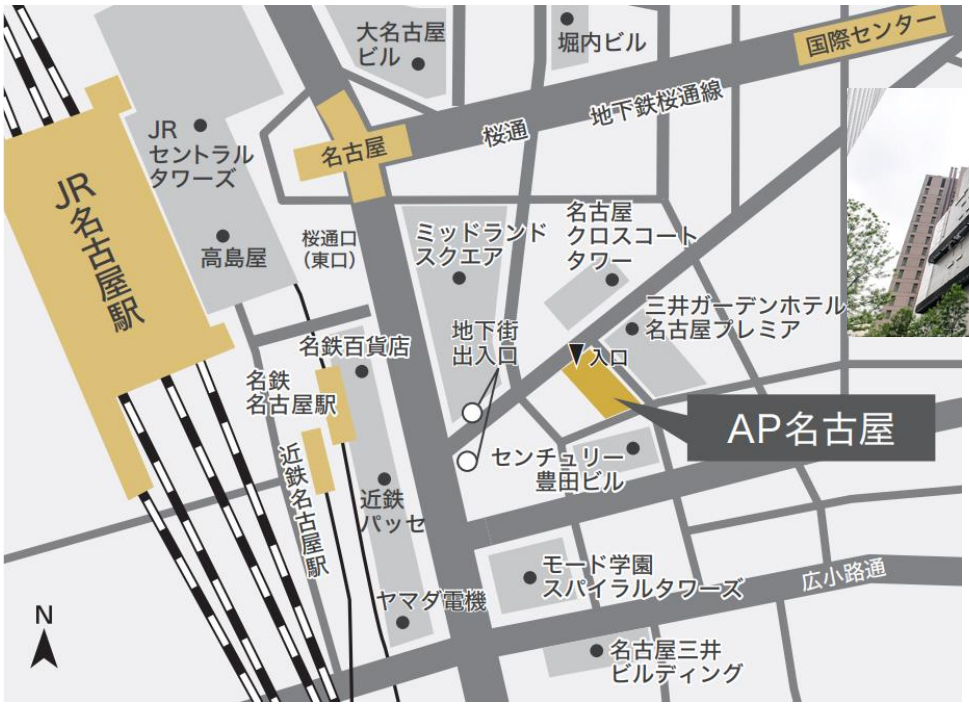
国土交通省中部地方整備局 河川部河川管理課　河川保全専門官
松尾（まつお）　永久（ながひさ）　TEL(052)953-8155

（別紙１）

会 場 案 内 図

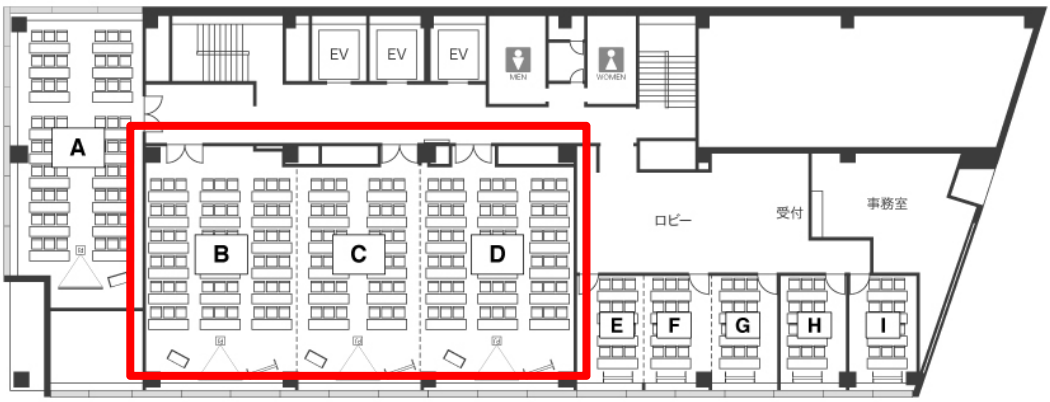
第９回　長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会

〇開催日時：令和７年６月２４日（火）　10:00～12:00（予定）
〇開催場所：ＡＰ名古屋　会議室Ｂ＋Ｃ＋Ｄ
　　名古屋市中村区名駅 4-10-2　名駅 IMAI ビル８階
〇アクセス：ＪＲ線 名古屋駅より徒歩５分
　　名鉄線・近鉄線 名古屋駅より徒歩２分



ＡＰ名古屋　位置図

ＡＰ名古屋　外観



会場位置図（ＡＰ名古屋　８階）

（別紙２）

長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会について

〇設置目的

長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会（以下「モニタリング部会」という）は、平成23年1月24日に開催された「中部地方ダム等管理フォローアップ委員会」において、「長良川河口堰の更なる弾力的な運用にあたり、モニタリング部会を設け、その部会において、モニタリング計画や検証を検討していくこと」とのご意見をいただき設置したものです。

〇長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会　委員名簿

氏　　名	専門分野	所　　属
松尾　直規（部会長）	河川水質・底質	中部大学　名誉教授
石田　典子	浮遊生物	元 名古屋女子大学　教授
木村　妙子	底生動物、河川環境	三重大学　教授
辻本　哲郎	河川、移動河床	名古屋大学　名誉教授
藤田　裕一郎	河川水理	岐阜大学　名誉教授

（※敬称略　委員については、五十音順）

【参考】

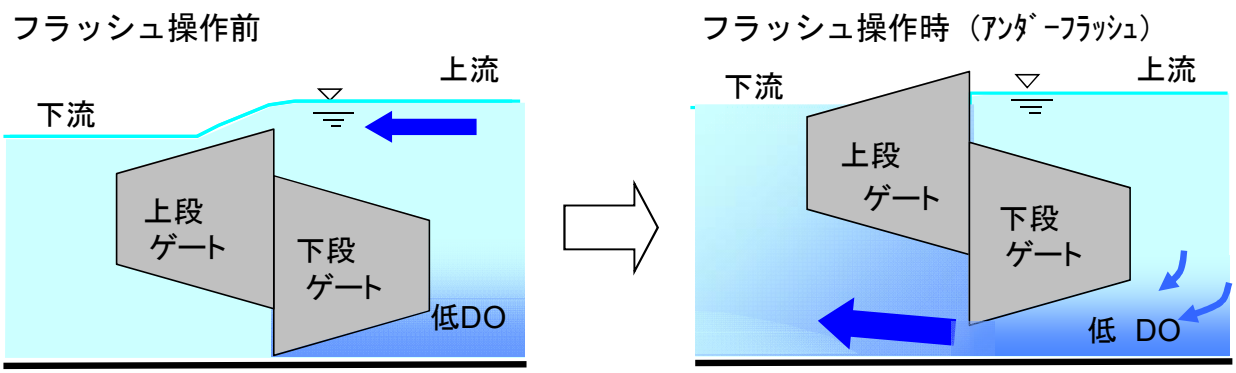
〇長良川河口堰の更なる弾力的な運用（フラッシュ操作）について

水質保全のため、一時的に堰からの流下量を増大させる操作です。

〇フラッシュ操作（アンダーフラッシュ）

塩分が侵入しない範囲内で、ゲートの下からフラッシュ放流を行うもので、河口堰上流の底層にある溶存酸素（ＤＯ）量の少ない河川水に流動を生じさせて、底層の溶存酸素量の低下を防ぎます。

【イメージ図】



別添

取材申し込みメールアドレス

水資源機構【chubu_water@water.go.jp】

第９回　長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会

取材申込書

下記に示す内容について記載の上、メールで申し込みください。

≪申し込み期限：令和６年６月２０日（金）１７：００まで≫

貴社名	
ご連絡先	
ご氏名	
当日連絡とれる 連絡先（携帯番号）	
メールアドレス	
取材人員	人